



Vol. 172

こんにちは としょかんです

発行 延岡市立図書館 〒882-0812 延岡市本小路39-1
TEL 0982-32-3058 FAX 0982-22-0644

2025年



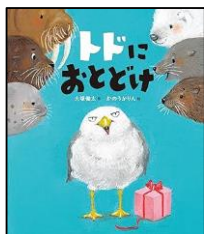
ふくろう通りの企画展

「子どもの読書週間企画展」

【展示期間】5/3（土）～ 6/5（木）

4/23～5/12は「こどもの読書週間」です！
今年のテーマは「あいことばはヒ・ラ・ケ・ホ・ン！」です。
今年も図書館職員が絵本から児童書まで幅広く子どもたちに読んでもらいたいおすすめの本を選んでいきます！この機会にぜひいろいろな本の世界をお楽しみください！

【展示予定の本】



『トドにおとどけ』

大塚 健太//作 かとう かりん//絵
(パイインターナショナル)

トドに誕生日ケーキを届けたいカモメが訪れた家から出てきたのはトドさんに似たアシカだったり、アザラシだったり…。海の生き物の違いも学べるユーモア絵本。

「消費者月間関連企画展」

【展示期間】5/3（土）～ 6/5（木）

5月は「消費者月間」です。

今年度の消費者庁統一テーマは「明日の地球を救うため、消費者にできること グリーン志向消費～どのグリーンにする？～」です。図書館では市の男女共同参画推進室と連携して、関連する本を展示します。どうぞご覧ください。

【展示予定の本】



『「脱使い捨て」でいこう!』

瀬口 亮子//著 (彩流社)

レジ袋、ペットボトル、使い捨て品、食品ロス等項目ごとに、国内外の「脱使い捨て」の政策や取り組み事例を取り上げ、持続可能な消費と生産について考えるきっかけとなる1冊。



延岡の地が育てた国際的スタア — 映画俳優 志村 喬 —

有名な映画監督である黒澤明監督の作品に、延岡で育った映画俳優が出演していることをご存じでしょうか。その俳優の名は「志村喬（たかし）」。

黒澤明監督の第一作「姿三四郎」に出演。その後、「七人の侍」では七人の侍の頭領島田勘兵衛を、「生きる」では末期ガンと知った市役所の市民課長渡辺勘治を演じました。

志村喬 — 本名島崎捷爾（しょうじ）は、明治三十八年三月十二日、兵庫県朝来郡（あさごぐん）生野（いくの）町に生まれました。父の毛登女（もとめ）の希望により神戸一中に進学します。その後、父親が仕事の都合で北方村の三菱槇峰鉱山に転勤したため、旧制県立延岡中学校（現延岡高校）に転校、青春時代の四年間を延岡で過ごしています。

志村は当時の延岡について、昭和57年『タ刊デイリー』にて連載された「私の人生劇場」では、神戸から延岡に移った際の第一印象を「神戸と雲泥の差の田舎と感じた」と記載し、『男ありて 志村喬の世界』では槇峰鉱山を「鉱山側の山肌は一木一草ないはげ山であり、反対側にはしたたるほど濃い緑の自然があった」と述べ、特に溶鉱炉からでる独特の煙は鮮烈な記憶の一つとして挙げています。

県立延岡中学校時代は三ツ瀬あたりに下宿をしながら通学。ボート部に所属をしながら、同人雑誌『さくらんぼ』のメンバーとして創作文章を残しています。

その後、熊本の旧制第五高等学校への受験失敗を契機に上京、演劇の道に進み、日本映画作品に400本以上出演する名優となっていきます。

志村喬は今年で生誕120年を迎え、延岡城・内藤記念博物館では「生誕120年特別展 映画俳優 志村喬～延岡での足跡と俳優人生～」と題して特別展が5月3日（土）から6月15日（日）まで開催されます。

この機会に延岡の地が育てた名優の足跡をたどってみてはいかがでしょうか。



【参考資料】

『男ありて 志村喬の世界』
沢地 久枝//著 (文藝春秋)
「私の人生劇場」
（『タ刊デイリー』昭和57年連載）

司書おすすめの本



【情報提供：図書館流通センター】



『笑う森』 荻原 浩//著 (新潮社)

神森で5歳のASD児・真人が行方不明になった。無事に保護されるが「クマさんが助けてくれた」と語るのみ。真人の叔父・冬也の懸命な調査で、4人の男女と一緒にいたことは判明するが…。



『ゆふすげ 歌集』

美智子//著 (岩波書店)

よろこび、悲しみ、ときに言葉にできない驚きや共感…。上皇后陛下美智子さまが、昭和から平成の終わりまでに詠まれ、これまで未発表だった466首を収録する。永田和宏による解説も掲載。



『天職が見つかる空想教室』

植松 努//著 (サンクチュアリ出版)

ぼくたちは知恵と工夫で、世界を救うために生まれてきた。小さな町工場から自家製ロケットを打ち上げ、宇宙開発の常識を逆転させた空想経営者が“どんな夢も実現させる方法”を語る。



『昆虫擬態図鑑 似せかたイロイロ!』

川邊 透、前畑 真実//著 (ポプラ社)

弱肉強食の厳しい世界で生きぬく昆虫たちの巧みでしたたかな「擬態」の数々。擬態を30のタイプに分類し、実例を写真で紹介する。



アンパンマン誕生秘話 やなせたかしの物語

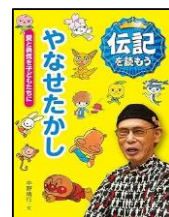


現在、NHK朝の連続ドラマ「あんぱん」が放送中ですね。「あんぱん」は、国民的キャラクターであるアンパンマンを生んだ漫画家・やなせたかしさんと、妻の小松暢（こまつのぶ）さん夫婦のお話です。

やなせさんがアンパンマンというキャラクターを初めて世に発表したのは、50歳の時でした。正義のヒーロー・アンパンマンはどのようにして誕生したのでしょうか。

やなせさんが漫画家として本格的に活動し始めたのは1953年の34歳のときでした。アンパンマンを生み出すまでは、漫画の仕事や代表作に恵まれず、生活するためにどんな仕事でも引き受けました。周りからは「困ったときのやなせさん」と呼ばれ頼られていたそうです。様々な仕事を受けていくうちに人脈もでき、『やさしいらいおん』や『チリンのすず』等の絵本を出版して知名度を上げ、長年あたためてきた『あんぱんまん』（当時はひらがな表記）の連載を月刊誌で開始します。当時は大人向けに描いたお話で、ちょっと太った人間のおじさんが空を飛んで、困っている人を見つけてはあんパンを配るというお話でした。やなせさんは20代の時に、兵士として飢えに耐える苦しい戦争時代を経験し、また、国の正義のために戦った弟を亡くしたことから、真の正義とはなんだろうとずっと考えていました。立場や国に関係なく、困った人や飢えている人に手を差し伸べることが真の正義だと考えたやなせさんは、食べ物配る「あんぱんまん」を思いついたのです。なぜあんパンにしたかという、安くて手に入れやすく食事にもお菓子にもなるからでした。

【参考資料】



『やなせたかし

愛と勇気をこどもたちに』

(あかね書房)



『ボクと、正義と、アンパンマン』

(PHPエディターズ・グループ)

ほか

しかし、大人たちの反応はイマイチで、今度は子供向けにアンパンマンを描いてみることにしました。人間ではなく今のアンパンマンのスタイルに変えて絵本を出版すると、意外にも子どもたちからは好評でした。「顔をちぎるなんて残酷だ」という批判もありましたが、やなせさんは「あんパンなんだから仕方ない。それに子どもはそんなことまったく気にしないんだ。」と、自分の信念を曲げませんでした。すると徐々に絵本人気が広まり、ついにアニメ放送が始まります。最初は一部地域だけの放送でしたが、予想に反して視聴率が良かったため、急遽全国放送となり、アンパンマンは大人気キャラクターとなっていったのです。やなせさんは2013年、94歳で亡くなるまでアンパンマンを描き続けました。

新刊案内（一般書・YA向け図書）

〈一般書〉



『闇をわたる』 堂場 瞬一//著（文藝春秋）

セレブ出身の二階堂の肩書は警視庁特別対策捜査官。成金社長の時計盗難事件の捜査を続ける二階堂だったが、今度は高級官僚の引きこもり息子による強盗事件が起きる。2つの事件はあらたな殺人を呼び…。



『保護犬と、保護猫と。必然の出会いで結ばれた物語』

今西乃子//著 浜田一男//著（WAVE出版）

命を捨てるのも人間だが、命を救うのもまた、人間でしかない。保護犬や保護猫の命の可能性と向き合う中で、自分の生き方をも変える様々なドラマに巡り合うことに…。27匹の犬と猫と人間の命の実話。



『るるぶ クルーズのすべて Cruise Perfect Guide 2025～2026』

完全保存版 話題の船が続々デビュー』（JTBパブリッシング）

話題の船が続々デビューし、クルーズの新時代が到来！外国船日本発着クルーズを紹介するほか、世界のクルーズ図鑑などを収録。取り外して使える大判地図、クルーズはじめて便利手帖等付き。データ:2024年12月現在。



『生きる証』 姜 尚中//著（毎日新聞出版社）

これまでの人生を「生きた、悩んだ、出会った」という3つの言葉で集約し、生きる証としたい。「悩む力」の著者が老年期の希望を説く。女優・小山明子との対談も収録。毎日新聞読者向けの冊子『私のまいにち』連載を書籍化。



『大阪・関西万博公式ガイドブック 2025年日本国際博覧会』

（2025年日本国際博覧会）

大阪・関西万博を完全網羅する公式ガイドブック。パビリオンやイベントをガイドするほか、レストラン&ショップ、チケットガイドなどインフォメーション情報も掲載。折り込みの会場マップ・パビリオン一覧付き。



『シルバーの自覚ないまま年は増え』 三浦 明博//著（講談社）

記憶とともに指紋も薄れ、指紋認証ができない！友が一人去り二人去り-数えるうちはまだ若い！痛む腰。立たない足。回らない頭。年齢相応な体と不相応な心を抱えて七転八倒、悪戦苦闘-。新・シニア小説全8編。

〈YA（ヤングアダルト）〉



『こうしてぼくはスパイになった』 デボラ ホプキンソン//著 服部 京子//訳（東京創元社）

1944年2月、ロンドン。13歳のバーティは一冊のノートを拾う。それは秘密諜報員になるための訓練を受けた女性のもので、後半は暗号になっていた。ノートを書いたフランス人女性が行方不明になったと知ったバーティは…。



『さみしい夜のページをめくれ』 古賀 史健//著（ポプラ社）

うみのなか中学校3年生のタコジローは、進路に悩んでいたある日、ヒトデの占い師に呼び止められる。本棚から泳いでくる本。まぶしく光ることば。仲間たちとの出会い…。「世界との人間関係」を築く本。

新刊案内（児童書）

〈児童書〉



『あこがれのスター大谷翔平世界一の野球選手になるまで』

ジョー・ティッシュラー//著（KADOKAWA）

日本からメジャーへの挑戦、WBC優勝…。そしてついにワールドチャンピオン達成！夢をかなえ続ける二刀流スーパースター、大谷翔平。世界一になるまでの野球人生を写真で紹介する。



『仕事をめぐる愛と冒険』 小手鞠 るい//作 ゆうこ//画（文研出版）

仕事って、なんだろう。「事」に「仕える」って、どういうこと？ みんな、なぜ、仕事をするの？ なのために仕事をするの？ 仕事をめぐる愛と冒険の物語。「お金たちの愛と冒険」の姉妹作。



『見るのが楽しくなる目のひみつ The Magic of Eyes』

泉 忠明//監修 さいとう あずみ//絵（創元社）

目はとっても働き者。そんな目のことを、どれくらい知っていますか？ 鮮やかなイラストや写真を用いながら、目のしくみや目の進化、動物の目のふしぎについて説明します。



『もりのあさ』 出久根 育//作（偕成社）

女の子は、朝もやが残るころにかごを持って森へと出かけていきます。まだ目覚めたばかりの森。くさはらには宝石のような朝露が光り、やがてりすたちも枝の上に姿を見せます。女の子は大好きな森の夜の姿に思いを馳せていき…。



『大ピンチずかん 3』 鈴木 のりたけ//作（小学館）

ケチャップがとんだ。トイレががつまった…。こどもが出あう世の中の様々な「大ピンチ」を、大ピンチレベル順に紹介。大ピンチのうっかり度を表す「うっかりメーター」、大ピンチを乗り越える方法なども掲載。

〔情報提供：図書館流通センター〕

延岡市立図書館カレンダー

5月

月	火	水	木	金	土	日
			1 おはなし会	2 資料整理 休館日	3 祝日開館日	4 祝日開館日
5 祝日開館日	6 祝日開館日	7 えほんのじかん	8 おはなし会	9	10 こどもとしゃかん フェスティバル	11
12 休館日	13	14 えほんのじかん	15 おはなし会	16	17	18
19 休館日	20 こども映画会	21 えほんのじかん	22 おはなし会	23	24	25
26 休館日	27	28 えほんのじかん	29 おはなし会	30	31	

6月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 休館日	3 こども映画会	4 えほんのじかん	5 おはなし会	6 資料整理 休館日	7	8
9 休館日	10	11 えほんのじかん	12 おはなし会	13	14	15
16 休館日	17 こども映画会	18 えほんのじかん	19 おはなし会	20	21	22
23 休館日	24	25 えほんのじかん	26 おはなし会	27	28	29
30 休館日						

開館時間 【火～金】 9：00～19：00 【土日祝】 9：00～17：00 ※時間外の返却は、返却ポストをご利用ください。

【えほんのじかん】 10：30～11：00 対象：0～3才程度 場所：おはなしのへや

【おはなし会】 16：00～16：30 対象：未就学児 場所：おはなしのへや

【こども映画会】 毎月第一・第三火曜日（15：00～15：30） 場所：おはなしのへや



図書館HP



Instagram